

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月4日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市南郷第八区研修センター	
所在地	八戸市南郷大字島守字山田谷地13番地1	
施設概要	設置目的：地域住民の生活の向上を図る。（地域活動及び憩いの場として設置） 施設規模：敷地面積 3,507.24㎡ 延床面積 223.93㎡ 木造平屋建	
指定管理者	名称	第八区研修センター管理運営委員会
	代表者	委員長 高橋 鉄造
	所在地	八戸市南郷大字島守字外ノ沢2番地
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日	
指定管理者の業務	(1) 施設の利用に関する業務 (2) 施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	農林水産部 農林畜産課 農林環境グループ	
	電話	0178-43-9052 (直通)
	e-mail	norin@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	館内清掃、施設周辺の草刈り、除雪等の施設維持管理に努めた。また、休館日を設けず、開館時間を延長し、地域住民の親睦、憩いの場となるよう施設の運営を行った。
今後の目標	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民が気軽に利用出来るよう、開かれた施設運営を行う。また、当該施設が「公の施設」であることを念頭に置き、引き続き利用者が公平に施設の利用できるよう適切な運営を徹底する。

■市（所管課）の総合評価

評価	施設の設置目的を踏まえ関連法令を遵守し、適切に運営業務を行っていた。また、施設や設備等の点検を随時行い、定期的な施設の清掃や草刈りを行う等、維持管理を徹底し地域住民一体となった施設運営が行われていた。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	施設利用の要望に合わせて開館し、地域住民の利用向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。

従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外
障がい者の雇用状況	—	地域住民による管理のため対象外
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分にできていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、半期管理業務報告書、事業報告書、その他報告書が適切に提出されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（令和6～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設の使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入館拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務等の必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用状況	—	指定管理者の適切な運営によって地域住民のコミュニティ施設として利用され、利用者数が前年度を上回った。 4年度 336人 5年度 425人（前年度比 126%） ※地域住民や特定の利用者を対象とした施設であることから評価の対象外。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。				
		(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入 ①	利 用 料 金	20,000	0	0
			指 定 管 理 料	414,000	414,000	414,000
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	9,000	11,000
			修繕料繰越金	26,000	25,740	21,040
			前年度繰越金	125,000	185,065	80,933
			雑 収 入	20,000	422	142
			計	605,000	634,227	527,115
		支出 ②	維持管理経費	584,000	390,434	295,550
			事業費・一般事務費	21,000	60,330	20,760
			計	605,000	450,764	316,310
		次年度修繕料繰越金③		0	0	25,740
		収入-支出(①-②-③)		0	183,463	185,065

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者の声を直に聞ける環境であった。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設利用要望がある都度、利用法を周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等があれば、速やかに対応する体制になっていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規定が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規定が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者が不便なく施設を利用できるように対応していた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	地域住民のコミュニティ施設として、地域住民が気軽に利用出来るよう、開かれた施設運営を行う。また、当該施設が「公の施設」であることを念頭に置き、公平・公正を徹底し、住民の平等な施設利用を確保する。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	半期管理業務報告書、修繕料実績報告書及び年間事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	9 回	4月12日	担当	施設調査、点検
		4月20日	担当	施設調査、点検
		4月26日	担当	施設調査、点検
		9月1日	担当	美術工芸品の点検
		9月27日	担当	施設調査、点検
		10月13日	担当	施設調査、点検
		12月22日	GL、担当	基本方針に基づく実地調査
		1月16日	担当	施設調査、点検
		3月27日	担当	施設調査、点検
	実施結果			
	・施設の調査点検の結果、施設に異常がないことを確認した。			

※GL：グループリーダー